



2021年3月期 第2四半期 決算説明会

2020年10月30日

NECネットエスアイ

(銘柄略称：NESIC 証券コード：1973)

代表取締役執行役員社長

牛島 祐之

目 次

1. 上期実績概要
2. 通期業績見通し
3. 中期経営計画施策の進捗状況

目 次

1. 上期実績概要

2. 通期業績見通し

3. 中期経営計画施策の進捗状況

(単位：億円)

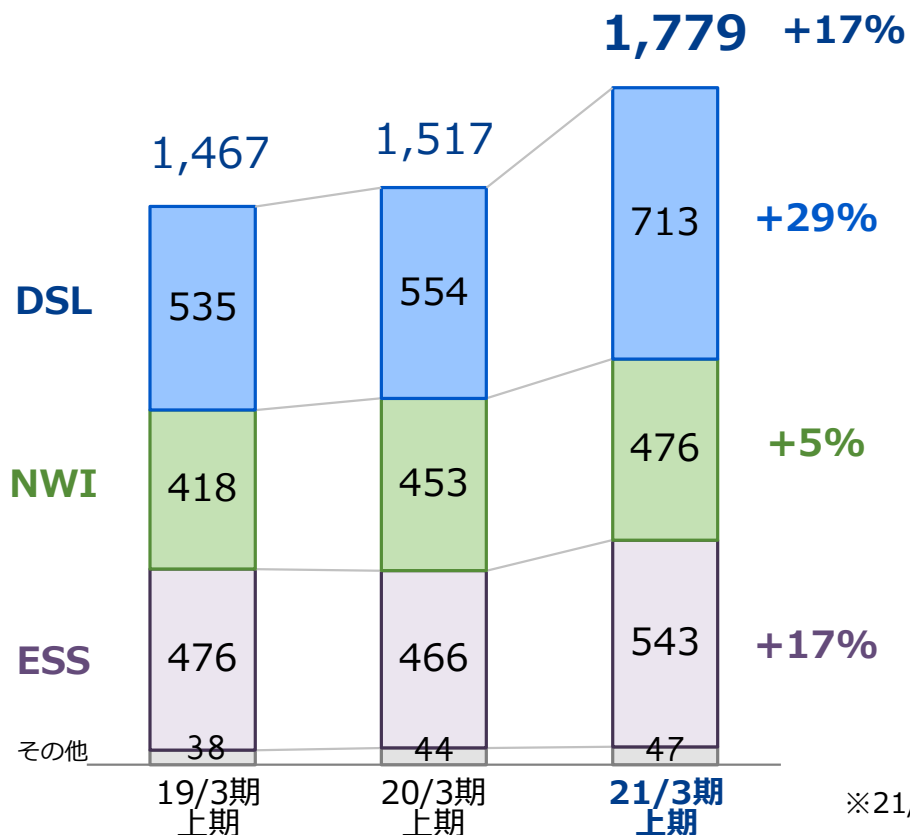
	20年3月期 上期	21年3月期 上期	前年同期 差/比	上期予想値 (7月30日)
受 注 高	1,517	1,779	+17%	1,560
売 上 高	1,363	1,512	+11%	1,420
売 上 総 利 益 率	16.5%	16.6%	+0.1pt	-
営 業 利 益 (営業利益率)	44 (3.2%)	67 (4.5%)	+24 +1.3pt	45 (3.2%)
特 別 損 益	△22	△5	+17	-
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益 (四半期純利益率)	29 (2.1%)	40 (2.6%)	+11 +0.5pt	30 (2.1%)
フリー・キャッシュ・フロー	108	144	+36	

■ 増収増益を達成、 予想値を大幅に過達

- GIGAスクール案件が受注を牽引
- 強化してきた事業力の上で
売上拡大し、大幅な増益を実現
 - 成長費用増や新型コロナウイルスによる
マイナス影響をカバーし更に上回る

2021年3月期 上期 セグメント別受注高

(単位：億円)



デジタルソリューション(DSL)

- GIGAスクール大型案件が牽引（子会社）
- DX関連：想定を上回る進捗
- 企業の投資減速感が顕在化

ネットワークインフラ(NWI)

- 通信分野が拡大
 - ・ KNSI社、海底地震計システム大型PJ（1Q）

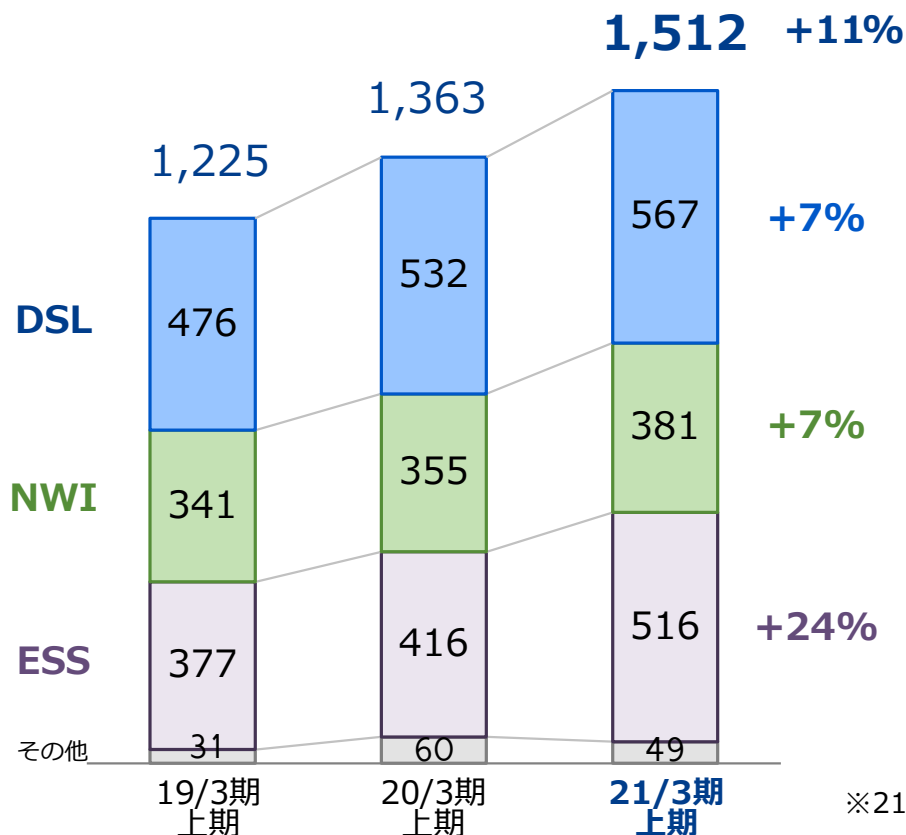
エンジニアリング＆サポートサービス(ESS)

- 地域GIGAスクール案件が牽引

※21/3期にセグメント間の事業移管等があり、過年度数値を組替表示しています。

2021年3月期 上期 セグメント別売上高

(単位：億円)



デジタルソリューション(DSL)

- 働き方改革関連分野が継続拡大
- GIGAスクール案件も売上貢献

ネットワークインフラ(NWI)

- KNSI社を中心に通信分野が拡大

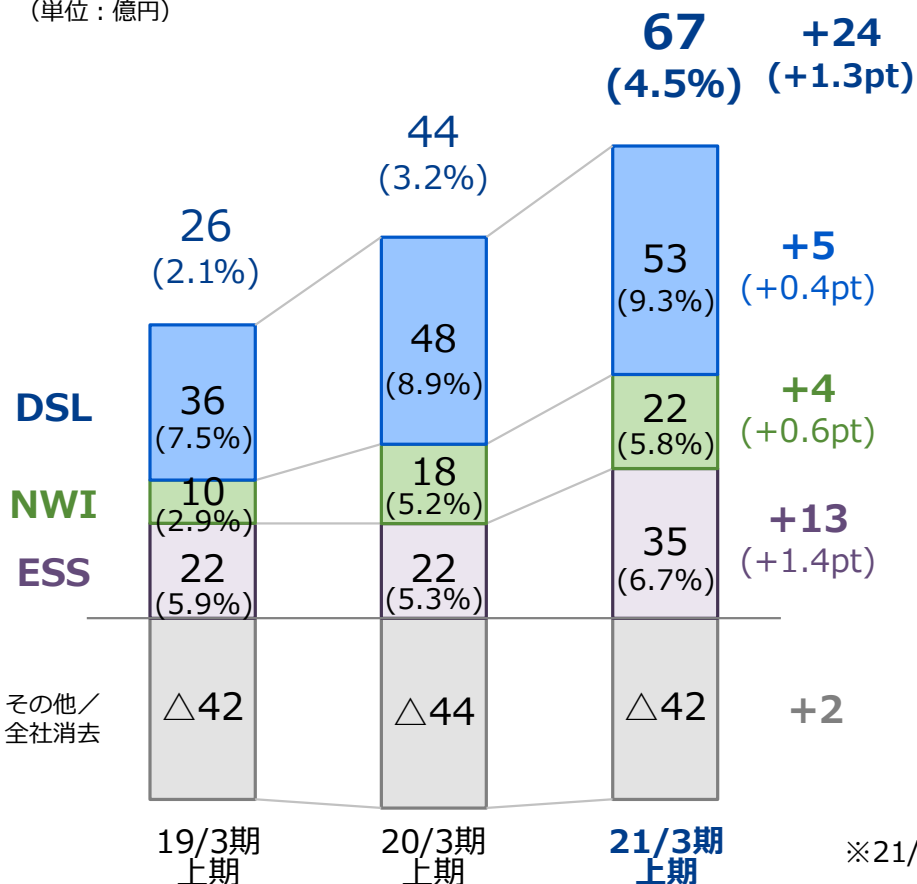
エンジニアリング&サポートサービス(ESS)

- 地域GIGAスクール、メガソーラーPJが売上貢献

※21/3期にセグメント間の事業移管等があり、過年度数値を組替表示しています。

2021年3月期 上期 セグメント別営業利益

(単位：億円)



デジタルソリューション(DSL)

- 増収により増益

ネットワークインフラ(NWI)

- 増収効果および組織再編効果※の継続で増益

※リソース効率の向上、プロジェクトマネジメント強化など

エンジニアリング&サポートサービス(ESS)

- 増収効果や不採算改善により増益

※21/3期にセグメント間の事業移管等があり、過年度数値を組替表示しています。

目 次

1. 上期実績概要
- 2. 通期業績見通し**
3. 中期経営計画施策の進捗状況

(単位：億円)

	20年3月期 実績	21年3月期 予想	前期差/比	前回予想 (7月30日)	前回差
受 注 高	3,050	3,200	+5%	3,100	+100
売 上 高	3,036	3,270	+8%	3,120	+150
営 業 利 益	162	190	+28	180	+10
(営業利益率)	(5.4%)	(5.8%)	+0.4pt	(5.8%)	0.0pt
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	94	113	+19	105	+8
(当期純利益率)	(3.1%)	(3.5%)	+0.4pt	(3.4%)	+0.1pt

通期予想を上方修正

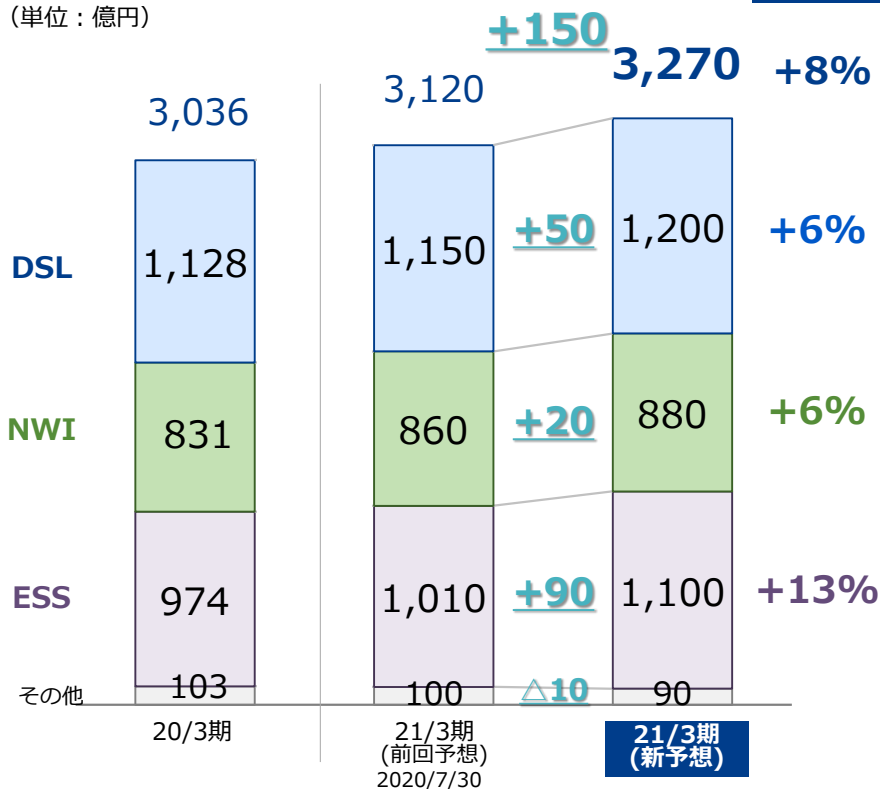
- 上期受注のGIGAスクール案件への注力や通信事業者向けを拡大
- 新型コロナウイルス長期化による影響拡大は懸念材料

2021年3月期 通期 セグメント別業績予想

売上高

(単位：億円)

前年伸率

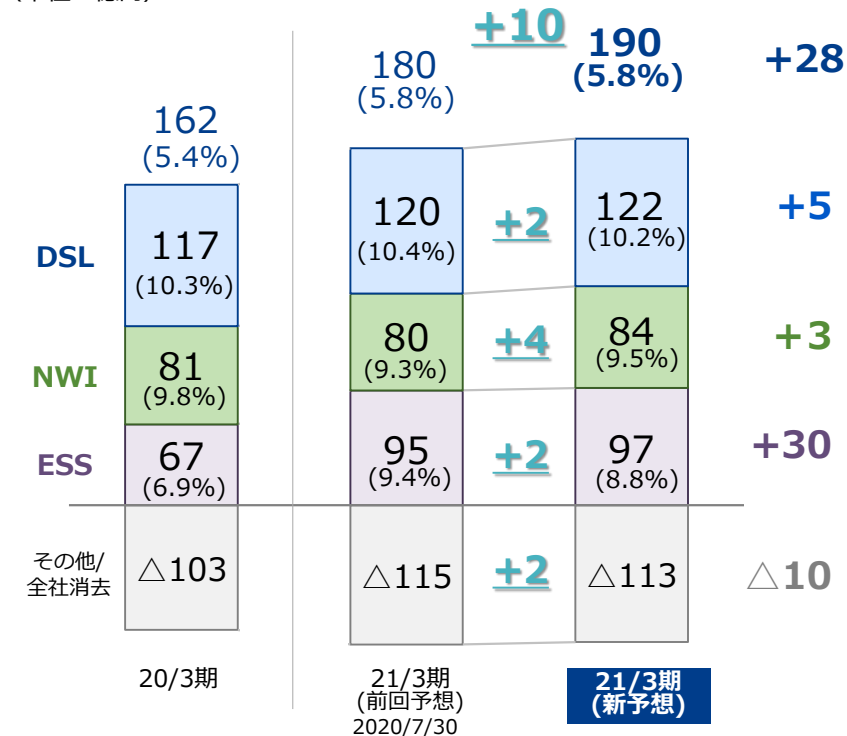


営業利益

(単位：億円)

()内は、営業利益率

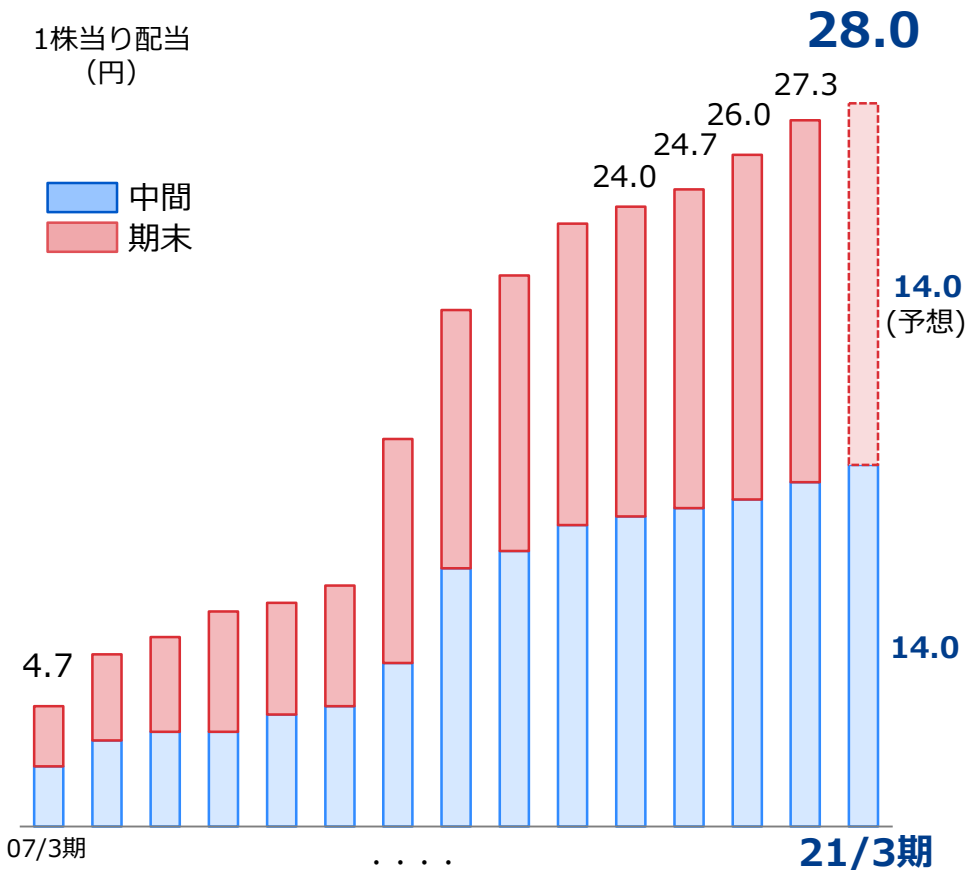
前年差



(予想値は2020年10月29日現在のものです)

1株当り配当
(円)

■ 中間
■ 期末



14期連続増配を計画

- 中間配当：計画通り14円/株
- 期末配当：当初計画通り

※2020年3月期以前の実績については、2020年6月1日付で実施した1:3の株式分割を反映して換算した値で示しています

目 次

1. 上期実績概要
2. 通期業績見通し
- 3. 中期経営計画施策の進捗状況**

振り返り：当社の価値創造モデル

目指す社会像

コミュニケーションで創る
包括的で持続可能な社会



社会への提供価値

- 誰もがより生き活きと働ける環境の創造
- 先進テクノロジーを活かした楽しく豊かな街づくり
- 発展する社会の安心安全を支える万全なサービスの提供

注力領域

デジタル

×

5G

価値創造の手段



ニューノーマルな働き方の実践／提案の強化

考え方

提供価値の進化

働き方改革
ビジネスの進化

ニューノーマルな働き方検討
(ニューノーマル宣言)

- 押印レス化、人事制度など
- 分散型ワークの提案加速
- 分散型ワーク導入事例も

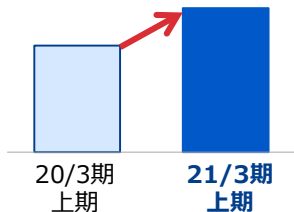
計画通り

事業モデルの変革

サービス提供型
モデルの拡大

サービス売上高

+12%



※DSLセグメント(子会社非連結化影響を除く)

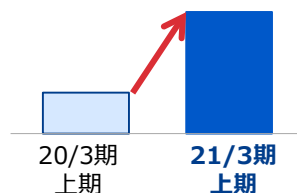
計画通り

技術の進化

事業を支える
DX領域の強化

DX関連受注額

約3倍 ※想定を上回り拡大



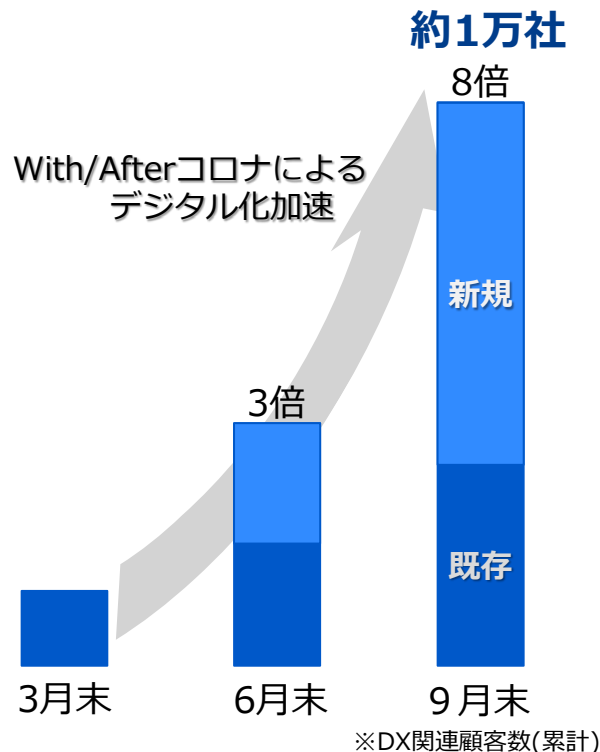
- 新規顧客も急増

好調

進捗

成長戦略の進捗：デジタル領域(トピックス)

急拡大するデジタル化顧客に対応（アップセル/クロスセル）



今後の取組み

● 企業マーケット



・マルチクラウドサービス（DXワークシフト）

- 中堅/大規模:DXコンサル
- 中小規模 :インサイドセールス活用

・Withコロナ関連サービス

- リモート/非接触/無人化/セキュア対策SL

● 文教/自治体マーケット



・デジタル化対応支援

- オンライン授業/デジタル庁舎/帳票・押印レス

5G投資本格化に向け、キャリア向け事業が順調に拡大

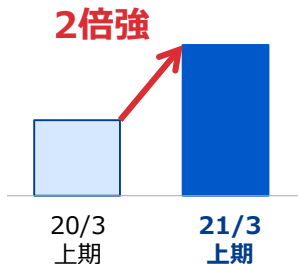
考え方

キャリアインフラ深耕

基地局事業のシェア拡大

〔 KDDIとの合併会社KNSI社※による深耕
※K&Nシステムインテグレーションズ 〕

KNSI社売上高



シェアが順調に拡大
コアNW領域にも拡大

計画通り

進捗

ローカル5G

フルレイヤーSI力を 活かせる分野として注力

〔 インフラ(コアNW～基地局)からサービス
まで手掛ける総合力を活用 〕

実証実験/提案活動を強化

- 5G時代に向けたオフィス活用を検証
(三井不動産と共同実証実験へ)
- CATV事業者を中心に
地域活性化に向けた連携加速

計画通り

ローカル5Gの実用化に向けた取り組みを加速

～技術基盤強化から「デジタル×5G」活用サービスまで～

日本初※

● 5Gラボ オープン(11/6)

実証・評価検証の場として開放
共創による素早いサービス開発

● オフィスビルで実証実験

(三井不動産と連携。12月～)

新たなワークスタイル創造/スマートビル
(XR※活用・PCレスオフィス・次世代ビル管理)

※VR、ARなど、現実世界と仮想世界を融合する技術の総称



5G技術者育成拠点



「シールドルーム」
パートナーも利用できる
5G検証環境



バーチャルワークプレイス



AI、ロボティクス活用

※日本初：大規模オフィスビル内でのスタンドアローン方式のローカル5G（4.7GHz帯）を用いた実証実験

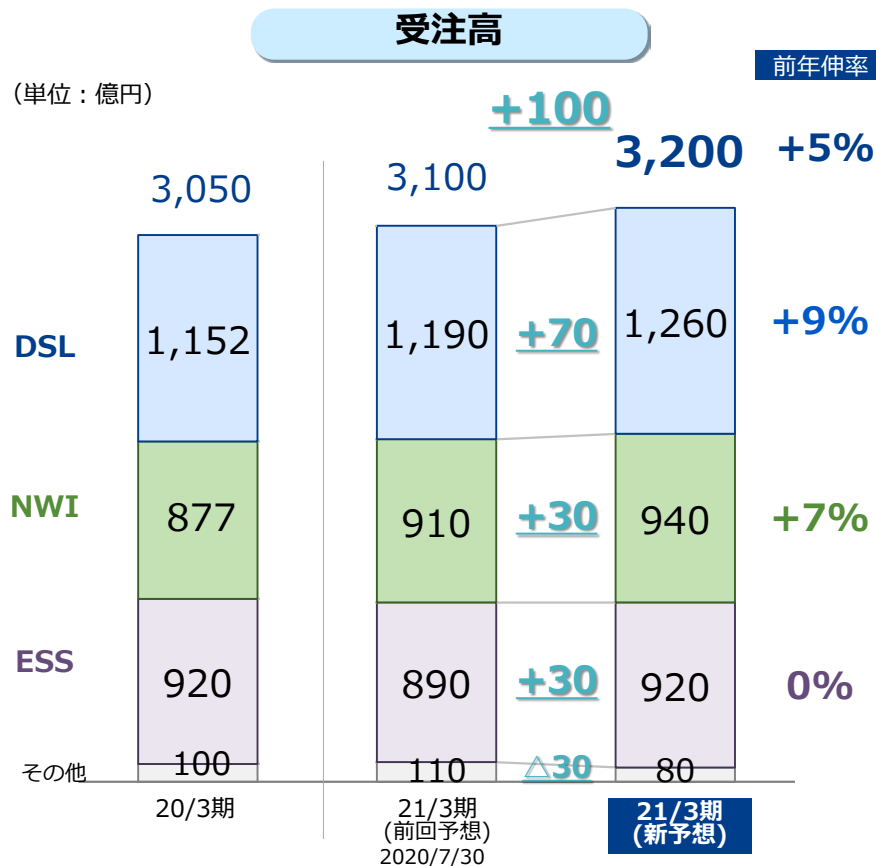
飛躍に向けた準備の1年

Ready to Jump

社会課題に対応しつつ、さらなる成長への基盤固め

APPENDIX

(参考)2021年3月期 通期 セグメント別業績予想



(予想値は2020年10月29日現在のものです)

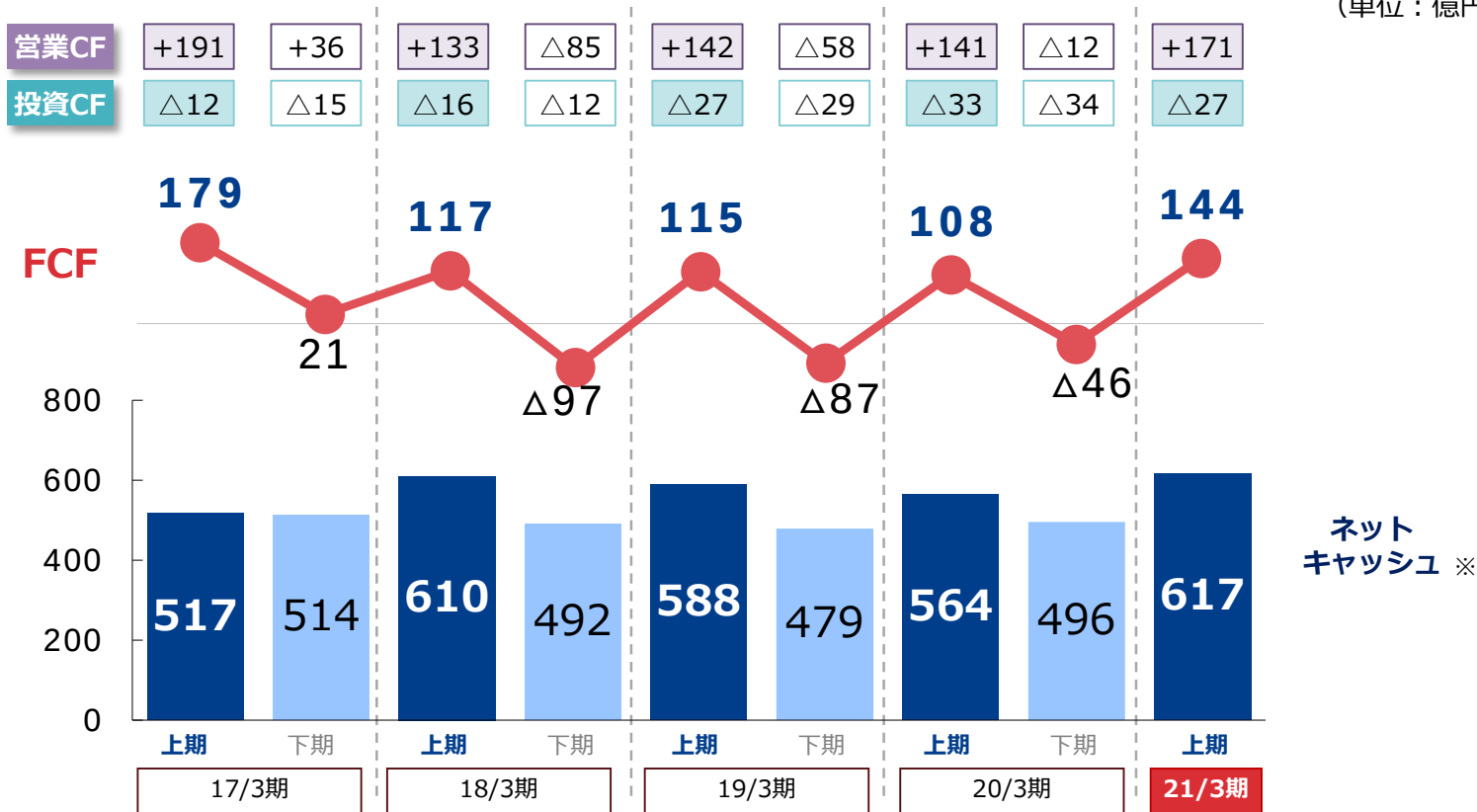
(参考)2021年3月期 上期(20年9月末) バランスシート

(単位：億円)

			20年3月末	20年9月末	増 減
		現金及び現金同等物	583	707	124
		受取手形及び売掛金	1,131	1,008	△123
		たな卸資産	132	127	△4
		その他流動資産	73	74	1
	流動資産合計		1,918	1,916	△3
	固定資産合計		384	393	9
	資産合計		2,302	2,308	6
		支払手形及び買掛金	431	439	8
		借入金	87	90	3
		その他負債	649	625	△24
	負債合計		1,167	1,154	△13
		株主資本合計	1,145	1,164	19
		その他の包括利益累計額	△41	△41	0
		非支配株主持分	31	31	△1
	純資産合計		1,135	1,154	19
	負債純資産合計		2,302	2,308	6
	自己資本比率		47.9%	48.7%	+0.8pt

(参考)2021年3月期 上期 キャッシュフロー

(単位：億円)



※ネットキャッシュ＝現金および現金同等物（含む有価証券）－借入金



明日のコミュニケーションをデザインする



NECネットエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

2020年4月にセグメント間の事業移管等がありました。2019年3月期および2020年3月期の実績は、これを受け、セグメント情報の比較のために組替えた数値で示しています。なお、2019年3月期の組替値は、監査を受けていない参考値です。

 **Orchestrating** a brighter world

NEC

NEC ネットエスアイ

www.nesic.co.jp